

**首都圏3県レガシーキャラバン  
～地域レガシー共創フォーラム～  
開催報告**

2016年10月5日

レガシー共創協議会

地域レガシー共創フォーラム実行委員会

[事務局:三菱総合研究所]



# 地域レガシー共創フォーラム 開催概要①

□ 「レガシー共創フォーラム」(過去2回実施)の地域版として、8月下旬～9月中旬に、神奈川、千葉、埼玉の3県で開催

## ● 開催日時・場所、参加者

神奈川県	千葉県	埼玉県
2016年8月31日(水) 13:30-16:30	9月6日(火) 13:30-16:30	9月13日(火) 13:30-16:30
横浜市開港記念会館	千葉県教育会館	埼玉県県民健康センター
		
参加者※総数 128名	143名	137名

※自治体(県、市町村)、公的団体、民間企業、実行委員会メンバー



# 地域レガシー共創フォーラム 開催概要②

## ● 体制

【主催】 地域レガシー共創協議会 実行委員会 民間企業13社

「第2回レガシー共創フォーラム」メンバー (7社)	新規メンバー (6社)
<ul style="list-style-type: none"><li>● NECネットエスアイ株式会社</li><li>● 株式会社セレスポ</li><li>● 大日本印刷株式会社</li><li>● 株式会社乃村工藝社</li><li>● 株式会社博報堂</li><li>● 株式会社ヤマハミュージックジャパン</li><li>● 株式会社三菱総合研究所</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 株式会社アスリートプランニング</li><li>● 株式会社伊藤園</li><li>● 近畿日本ツーリスト株式会社</li><li>● 特定非営利活動法人ジャパン・トラベルボランティア・ネットワーク</li><li>● 株式会社パソナ</li><li>● 株式会社LIXIL</li></ul>

【後援】 各開催県

経済産業省関東経済産業局



# 地域レガシー共創フォーラム

## ● 特徴・ねらい

(1) 神奈川県、千葉県、埼玉県で開催

□ この3県は競技会場を擁するなどレガシー創出の大きなポテンシャルがある

(2) 主たるターゲットは県・市町村

□ 3県において、基礎自治体をも巻き込んだ本格的な議論はこれから

(3) リオ大会が終了し、自治体での議論が本格化する前のタイミングで開催

□ 2017(H29)年度からの自治体でのレガシー事業スタートのきっかけに

(4) 大会を地域活性化に活かす「レガシー視点」の啓発

□ 「レガシーとは何か」「自治体がレガシーをどう活用すべきか」についての講演

□ 実行委員会メンバー13社からの官民連携レガシー事業提案(発表・相談会)



# 地域レガシー共創フォーラム プログラム①

- 関係者の挨拶、レガシーに関する講演、テーマごとの発表・相談会を実施

## 1.【挨拶】 各県・国の取り組み、各大会の取り組み

- ・レガシー共創協議会

- ・各開催県

  - 神奈川県スポーツ局オリンピック・パラリンピック課 焼石課長

  - 千葉県総合企画部東京オリンピック・パラリンピック推進課 内田課長

  - 埼玉県県民生活部スポーツ局 久保局長

- ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 企画財務局

  - 佐々木部長、石川部長、福田課長

- ・関西ワールドマスタースゲームズ2021組織委員会 企画調整部 東部長

- ・経済産業省関東経済産業局地域経済部地域経済課 幸物課長補佐





## 地域レガシー共創フォーラム プログラム②

### 2.【講演】大会を契機とした市町村での取り組みと レガシー事業提案

- ・講師:レガシー共創協議会事務局長 仲伏達也
- ・内容:レガシーとは何か、過去の大会での地域取り組み例、市町村にとっての可能性と留意点、5つのシナリオに沿った民間事業提案について



### 3.【講演(埼玉県のみ)】ラグビータウン熊谷と共に 地域との連携を通じたレガシー創り

- ・講師:立正大学ラグビー部監督  
ラグビーワールドカップ埼玉ラグビーアンバサダー  
堀越 正己 様
- ・内容:埼玉ラグビーアンバサダーとして「ラグビーを身近に」「ラグビーと共創する」という夢の実現に向けた取り組みについて





## 地域レガシー共創フォーラム プログラム③

### 4. 【個別セッション】レガシー事業提案：実行委員会メンバーによる発表・相談会

#### ・テーマ

- A. イベントをきっかけとした住民のスポーツ活動活発化
- B. 合宿を活用したインバウンド観光と国際交流の促進・スポーツ産業の振興
- C. 文化プログラムをきっかけとした文化振興・コミュニティ形成
- D. ボランティアやイベントを通じた住民参画促進
- E. 海外からの注目を契機としたインバウンド観光振興



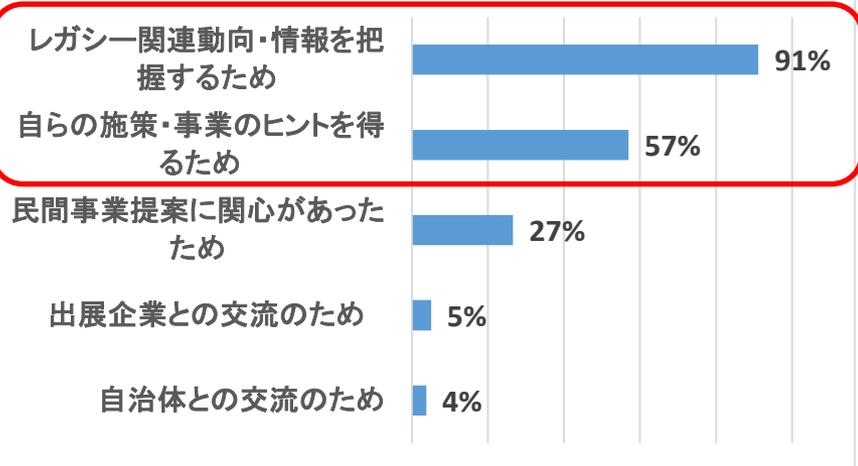


# 地域レガシー共創フォーラム 実施結果

- 参加自治体に、レガシー関連の情報、施策のヒントを提供

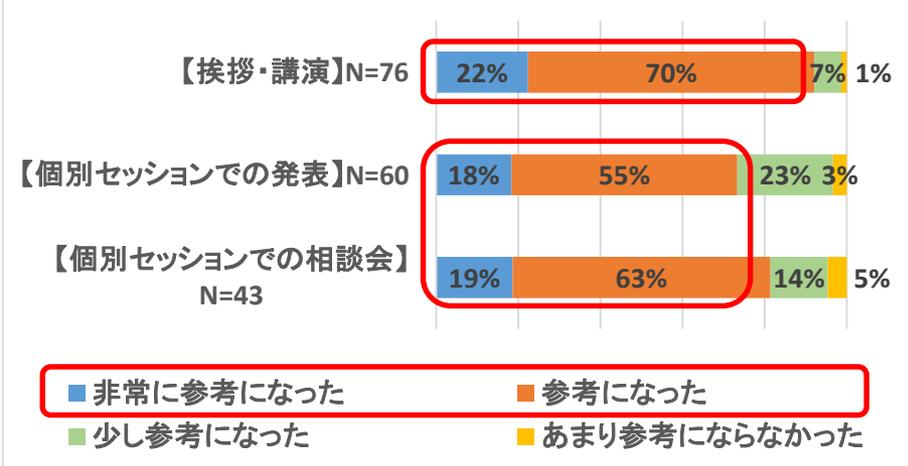
### フォーラムの来場目的 (N=79)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



### フォーラムの満足度

0% 20% 40% 60% 80% 100%



注：来場者アンケート(神奈川県、千葉県、埼玉県の3会場合計の値)



# 地域レガシー共創フォーラム 実施結果

## ● 代表的な来場者の声

A市町村	全体的にはとても有意義な時間を過ごすことができたと思っております。大変ありがとうございました。
B市町村	いかにオリパラを活用するか参考になりました。
C市町村	もりだくさんであったが、一度にたくさんの情報を得られたことがよかった。
D市町村	具体的事例について話がありましたが、より踏み込んだ内容を聞きたいと思いました。
公的団体E	MRI仲伏氏の話に共鳴するものが多かった。市町村・自治体が税金を使って運営管理するには無理がある中で、いかに民間や外国人、若い世代を使ってパイを増やしていくかという発想が大切だと思った。市町村でも話していきたい。
民間企業F	レガシー事業の講演は、リオが終ったタイミングでもあるので、過去と現在を比較して大変参考になった。



# 地域レガシー共創フォーラム 実施結果

- 実行委員会に参加した企業の声

「地域レガシー創出にかかわる  
自治体とのパイプ作りに役立った」  
「自治体から具体的な相談があった」

「自治体のニーズが把握でき、これからの  
レガシー提案の参考となった」



自治体との接点づくり



今後のレガシー提案の  
ブラッシュアップ





## 地域レガシー共創フォーラム 今後の展開

- 今後も「地域レガシー共創フォーラム」は継続していく考え
- なお、ターゲット設定、実施内容・方法はいくつか考えられる
- 実行委員会メンバーで、今回のキャラバンの結果を踏まえ、次の展開を検討するワークショップを10月下旬以降、年内にかけて数回実施し、方向性を定める

実行委員会  
メンバー各社  
が得た情報



自治体の  
ニーズ  
ヒアリング